

令和 8 年度

第 76 回横浜市中学校総合体育大会 生徒代表のことば

青葉が目眩しい季節となり、それぞれの場所でいろいろな人が最後の大会に向けて備える中、ついに 2026 年度横浜市総合体育大会の幕が開けようとしています。

私の先輩はいつも全力で、すごく楽しそうにプレーをしていました。私が先輩の試合に出て一緒にプレーしたときも緊張をほぐしてくれたり、一緒に楽しんでもくれる先輩でした。先輩たちは一人ひとりが盛り上げて、当たり前のことを当たり前に見える人たちでした。そんな先輩たちを見て、私も先輩たちのようになりたいと強く思いました。しかし自分の代になったときチームをまとめる大変さや試合に勝たなくてはというプレッシャーでハンドボールを楽しむということができなくなっていました。けれどそこで諦めずに、自分がやらないで誰がやるんだと自分に言い聞かせて、改めて先輩たちのように楽しもうと思えるようになりました。そこから私はハンドボールが楽しめるようになり、勝たなくてはというプレッシャーから勝ちたいという想いに変わっていきました。正直、不安なこともたくさんあります。しかし、楽しもうとしなければ楽しめない。だから全力で楽しんでいきたいです。

最後の夏は負けたら終わり。どのチームも必死に勝ちにくると思います。だからこそ気を抜かず、全員で楽しんで全力でプレーしていきたいです。

いよいよ最後の夏の大会が始まります。これまで支えてくださった全ての人に感謝しながら、そしてここまで一緒に戦ってきたチームメイトと共に最後まで楽しんでそして全力で戦い抜くことを誓います。

中川西中学校 女子ハンドボール部 部長 家村芽愛